

農林水産省 消費・安全局  
農産安全管理課 御中

遺伝子組換え生物等の第一種使用規程の承認申請案件に対する意見

平成17年4月1日

社団法人 農林水産先端技術産業振興センター  
理事長 畑 中 孝 晴  
所在地：〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目9番13号  
電話：03-3586-8644  
FAX：03-3586-8277

平成17年3月11日付けで意見募集がなされております遺伝子組換え生物等の第一種使用規程の承認申請案件について、以下の意見を提出しますので、宜しくご検討下さいますようお願い致します。

記

今回公表された13案件について、資料14「学識経験者の意見」を参考に検討した結果、いずれも生物多様性影響が生じるおそれはないと判断されますので、農林水産大臣および環境大臣におかれましては、速やかに承認されるようお願い致します。

とりわけ、隔離圃場試験にかかわる9案件、および研究機関の試験圃場における栽培にかかわる2案件につきましては、栽培試験の開始に支障を来さないよう、遅くとも4月末までにご承認頂きたく、お願い致します。

除草剤グリホサート耐性ダイズにつきましては、ダイズとツルマメとの交雑率は極めて低く、また、わが国のツルマメ集団に栽培ダイズに特有の遺伝特性を示す比率が極めて低いことを明らかにしている信頼度の高い文献があります。他方、本遺伝子組換えダイズのツルマメとの交雑性が非組換えダイズに比べて高まることがないと立証されていることから、わが国各地におけるダイズ栽培の永い歴史に鑑み、本遺伝子組換えダイズを第一種使用規程に従って使用した場合、あらためて調査を行うまでもなく、交雑性によって生物多様性に影響を及ぼすことはないとの結論は科学的に十分了解できるものと考えます。

以 上